

地域を映す水文化・ 水が導く地域の未来

水文化の保存再生を通じた水源地域の活性化方策



平成12年3月

国土庁長官官房水資源部

水文化とは、

人々が、水を上手に活用し、また水を制する中で、長い時間をかけ、生み出されてきた有形、無形の文化や伝統です。各地域はそれぞれ、個性的な水文化を持っています。



水文化には、

祭事や信仰、伝統工芸、水車や堰等の施設などがあげられますが、それに加え、水を中心とした生活パターンや生活様式も水文化ととらえます。子どもの水遊びも、立派な水文化です。



水文化は、

地域固有の自然環境や社会条件の中で、磨き上げられたものです。そのため、水文化は、その地域の姿を映し出す鏡となります。また「生活の知恵」を内に秘めたものでもあります。



本指針は、

各地域が、このような水文化の持つ高い価値に気づき、水文化を保存再生していくための手助けとなるものです。保存再生活動は、地域に健全な水循環と、真の活力を甦らせませす。

概要

1. 本指針の目的と位置づけ

本指針は、水文化の持つ高い価値に改めて着目し、地域が主体的に水文化を保存再生することを通じて、地域における健全な水循環を再構築し、地域の活性化を図るための参考になるものである。

2. 水文化の捉え方と定義

「地域の人々が水を上手に活用し、また水を制する中で生み出されてきた有形、無形の文化や伝統」。具体的には、祭事等の行事・イベント、水車や堰等の伝統施設や工法、伝統工芸等、水を中心として形成された特徴的な生活スタイル・生活様式など。

3. 策定作業の狙い

本指針で示したように、水や水文化の現状を把握し、保存再生活動を展開することは、地域を知り、新たな成長を描き出すことであり、地域を活性化する作業そのものである。

4. 策定の作業

(1) 地域の“水”を知る

まず、雨の量、大きな循環（自然の循環）、小さな循環（人為的な循環）を把握する。次に、地域の水資源を洗い出す。これらをもとに「地域の水循環図」を作成する。そして、水を通して地域固有の風土を見直していく。

(2) 地域の“水文化”を知る

「水資源と水文化台帳（水文化アーカイブ）」を作成し、水文化を洗い出す。次に、「水の歳時記」等を作成し、地域における水文化の位置づけを整理する。さらに、「水と水文化年表」を作成し、水文化の形成・衰退の歴史を整理する。加えて、「水文化の衰退要因図」を作成し、水文化の衰退要因を考える。このように、水文化を理解することを通じて、地域の特徴や歴史・変遷を見直していく。

(3) 地域の保存再生活動を知る

地域で展開されている保存再生活動は、地域発展のポテンシャル、大切な素材と考えられ

る。そこで、「水文化保存再生活動団体台帳」を作成することで、地域内で展開されている保存再生活動を網羅的に把握する。

(4) 地域の“水と水文化MAP”を作る

これまでの台帳や歳時記・年表の作成によって収集・整理された地域の水と水文化に関する基礎的データを、地図に落とし込み「水と水文化MAP」を作成する。水文化は、地域の姿を映す鏡ともいえるものであり、地図を作成することで、これまで見えなかった地域の姿やポテンシャルを発見できる。

(5) 保存再生活動方針を決める

地域は、水文化衰退とともに何を失ったのかを整理した上で、活動ゴールや、活動方針を決め、「活動方針書」を作成する。これに基づき、地域独自の保存再生活動を展開することで、水文化の持つ大いなる価値を引き出し、水文化を活用した地域活性化を図っていく。

5. 結び

水文化の価値

水文化の保存再生活動を通じて、人々はあらためて水や水文化と触れ、地域の位置づけを再確認する。そして、地域社会の固有のリズムを取り戻し、固有の智慧を知る。水文化と直面することは、まさに自分（地域）自身と向き合うことに他ならない。

保存再生活動は内発的成長を誘発する

これまでは「外発的成長」、つまり、地域の発展の原資は、外部から与えられると考えられてきた。しかし、地域自身を再確認する契機を与えてくれる水文化の保存再生活動は、自分の身の丈にあった発展を志向する「内発的成長」を誘発するものである。

新たな水文化の創造に向けて

水や地域等の劇変によって水文化は衰退した。こうした中で、伝統的な水文化をそのまま保存再生しても、定着させることは難しい。水文化の意味を噛みしめながら、変貌を遂げた地域と水を土台として、新しい水文化を創造していく時期であろう。

本指針の作成に携わった人々

水文化検討委員会

- 嘉田由紀子 滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員（委員長）
恵 小百合 江戸川大学教授（副委員長）
青山 佳世 フリーアナウンサー
アン・マクドナルド 宮城大学講師
土屋 桜子 土屋酒造株式会社取締役
富岡 典子 国立環境研究所水圏環境部水環境質研究室主任研究員
中嶋いずみ 日本上流文化圏研究所理事、地方自治職員研修編集長
松永 真理 N T T の コミュニケーション推進本部で「文化」の 企画部長
若村麻由美 女優

国土庁長官官房水資源部

- 小松 兼一 審議官
山川 雅典 水資源政策課長
村山 正純 水源地域対策課長
崎野 健輔 水源地域対策課課長補佐
小野寺晃宏 水資源政策課専門調査官
荻荘 靖子 水源地域対策課

㈱三和総合研究所

- 丸田 一 研究開発第 1 部（東京）主任研究員
水登 朱美 研究開発第 1 部（東京）副主任研究員
西尾 真治 研究開発第 1 部（東京）研究員
関 恵子 研究開発第 1 部（東京）研究員